

会 議 録

審議会等名	平成 28 年度 第 2 回三条市文化芸術振興に関する懇談会		
公開の別	全部公開		
開催日時	平成 29 年 3 月 27 日 (月) 午後 2 時から 3 時		
開催場所	中央公民館 第 2 会議室	傍聴者	無
		報道機関	無
出席者氏名	委 員 丸山正夫会長、花柳雅鶴委員、櫻井綾委員、岡村守委員、石井正文委員、鶴巻純子委員 三条市 金子生涯学習課長、阿部生涯学習課長補佐、佐藤文化振興係長、佐藤生涯学習推進係長、春日一般任用主事 (欠席者) 西村邦明委員、馬場郁夫委員、丸山鉄平委員、金子達雄委員		
協議題	(1) 平成 28 年度文化芸術振興事業の実施状況について (2) 平成 29 年度主な文化芸術振興事業 (案) について (3) 文化振興基金の活用状況について		
生涯学習課長	挨拶		
丸山会長	議題 (1) について説明をお願いします。		
佐藤係長	(平成 28 年度文化芸術事業の実施状況について説明)		
丸山会長	ただいま事務局から説明があったが、御質問、御意見をお願いしたい。		
丸山会長	市展について、入場者数が 826 人減であったが会場が原因か。		
金子課長	私どもの分析では、体育文化センターが使用不可となり、厚生福祉会館での開催で、スペースの都合で無鑑査等の特別出品等の展示を中止した事と開催時期が 10 月の下旬から 11 月初めの寒い時期になった事が原因と考える。		
花柳委員	若手芸術家支援事業は、いつも三條新聞に開場式の記事が翌日載っていたが今年は 1 行も載っていなかった。		
丸山会長	取材は来ていた。初日の開場式の記事が翌日載るとそれによって集客力が伸びる。今回はどうしたのか。		
金子課長	今回は 4 回目で、過去の 3 回は開場式の翌日には三條新聞に載せていただいた。ほかの新聞社は翌日に載っていたと思う。		
丸山会長	熱心に取材されていたと思うが、お願いするわけにもいかない。		
花柳会長	お願いにした方がいい。		
金子課長	若手芸術家支援事業も含めて全ての事業について、取り上げてもらえるよう努力していきたい。		
丸山会長	議題 (2) について説明をお願いします。		
佐藤係長	(平成 29 年度主な文化芸術振興事業 (案) について説明)		
丸山会長	ただいま事務局から説明があったが、御質問、御意見をお願いしたい。		
丸山会長	新たなソルフェージュ教室の対象者はどういうレベルか。あまり聞き慣れないので、内容についてももう少し詳しく説明していただきたい。		
佐藤係長	ソルフェージュ教室の受講対象者として考えているのは、まずピア		

	ノ教室受講生及び一番星育成事業補助金の音楽系の交付対象者で、既に面接や技術面接を行っているので希望すれば受講できる形を考えている。また、一般公募も行い、申請書類の書類審査で選考し決定させていただこうと考えている。
丸山会長	同時にピアノ教室も行うのか。
佐藤係長	ピアノ教室も実施する。
丸山会長	ピアノ教室は一番星の方を対象にしているが、ソルフェージュというのはどういうレベルか？
金子課長	ソルフェージュ自体も高校受験や大学受験をする段階で必須科目になっている。それを勉強することにより、受験にも効果があると考えている。
櫻井委員	<p>ソルフェージュ教室の開講にあたり市から相談があり、協力させていただいているので、私の方からお話をさせていただく。</p> <p>ソルフェージュとは、音楽大学だけでなく中央高校の入試科目にもなっている音楽の基礎的な要素で、音符の勉強、音を聞いて書き取る、楽譜を見てすぐ歌うという試験が必ずある。それは、国公立大学の教育学部の入試科目にもあって、音楽を演奏する以前の素養の部分である。</p> <p>教室内容は、楽典という授業、これは音楽理論、筆記試験対策である。それから、聴音といってピアノで演奏された音を書き取る。そして、新曲視唱といって新しいものを見て唱う、視奏というのは見てすぐ弾くという試験の対策である。</p> <p>対象者は、学校の勉強のように、全ての子どもに学んでほしい。対象としては、ピアノ教室の受講生、それから一番星の音楽系を希望者、一番大事なのが一般公募者と考えている。学校の部活で器楽や吹奏楽、合唱に取り組み、音楽の基礎素養を学んで演奏に生かしたいという人も応募してほしい。</p> <p>西洋では、ソルフェージュ科というのが1つの科目になっていて、ここから作曲をする勉強やいろんな音楽への広がりを見せる斬新な勉強である。</p> <p>どんなお子さんでも受けられるように、音を楽しく感じられるレッスンの内容を講師の先生に検討していただいている。</p>
花柳委員	一般の人が応募するには内容を周知しないと分からない。
櫻井委員	<p>広報の文面として、子どもたちが受講したら面白そうだなというものを考えている。講師は作曲家の先生を考えている。作曲家から見た普段ありふれている曲の分析をみんなでするとか、面白く音楽の内容を捉えるようなものを考えている。私の提案だが、配布するチラシには内容も載せ、たくさんのお子さんに見ていただき、そこから音楽をやってみよう、何かをやってみようという人が生まれ、そこから一番星も生まれるとよい。今やっている人達ばかりが対象ではなく、きっかけを作るとい意味で、是非内容をきちんと載せていただきたい。</p>
金子課長	チラシは一般の方々が見て分かるものを出していく必要があるもので、櫻井先生と相談しながら進めていきたい。
花柳委員	7年という年月を重ねたわくわく文化未来塾の全講座の発表会を3月に行えるといい。市はこういう事業をやっているのかと目に触れら

	れ、結果報告になる。
金子課長	前回も御提案いただき、事務局で検討させていただいた。美術関係、生け花は市展で発表しており定着している。新たに3月に向けてとなると子どもたちの負担にもなるので、当分の間は今までの発表の場を重視していきたい。発表していない団体についても、個々に発表の場を設定したらいいのか検討していきたい。
花柳委員	工芸、書道、生け花は市展に参加するのもいいが、子どもたちだけの「わくわく文化未来塾総合発表」があるとよい。
櫻井委員	わくわく文化未来塾で発表をしている教室がほとんどだと思うが、成果発表を最後にされない教室があるのか伺いたい。
金子課長	将棋は無いと思う。将棋は発表の場というよりも対戦ということになる。
佐藤係長	百人一首競技かるたなど発表にそぐわない教室もある。
丸山会長	その辺も含め、可能か検討していただきたい。他に御意見があれば伺いたい。名誉市民記念事業についてはいかがか。
鶴巻委員	渡邊義雄先生の記念展の予定を見ると、日数が4日間で短い感じがする。
金子課長	会場が公民館なので、長く会場を押さえることができない。休日を含めて開催日程を決定させていただいた。
鶴巻委員	もう1日くらい取れないか？
金子課長	会場の都合が厳しい状況である。
丸山会長	議題（3）について説明をお願いします。
佐藤係長	(文化振興基金の活用状況について説明)
丸山会長	ただいま事務局から説明があったが、御質問、御意見を伺いたい。
丸山会長	各事業で基金の寄付をお願いするチラシを配布しているが、あまり効果が無いようである。
佐藤係長	最後の寄付が平成25年なので、そろそろチラシの文面等も見直しながら実施していく必要があると考えている。
櫻井委員	寄付金のことだが、このチラシ以外に何か検討していることはないか。6年間で2千万円使用している。そのうちゼロになる。他の方法を考えないと支出額も毎年増加している。皆さんの大事な寄付金なので、違う形を考えた方がよいと思う。
佐藤係長	今のところ具体的には考えていることはない。
櫻井委員	これだけチラシを出して寄付金が全く無いということは、ほかのことに切り替えた方がいいと思う。
金子課長	このまま使っていけば無くなるということで御寄付をお願いしている。文化振興基金については、文化施設を作るという目的で御寄付をいただいていたが、そのままでは基金を積んだままなので、文化振興のために使わせていただいている。使えば無くなっていくので御寄付のお願いをしている。この辺についても新たな方法があれば伺いたい。
岡村委員	現在、体育館と文化会館を改築している。そのために積み立ててきたのでその建設費に充当できないか？
金子課長	今後の検討になる。建物ではなく、東公民館建設時には、ピアノの

	購入に基金を使わせていただいた。今後、新施設にどのようなものを入れるのがいいのか御意見をいただくことがあるかと思う。
花柳委員	今やっている事業は市政で行うべきことで、たまたま文化振興基金があってそれを使っていると思う。基金は無くなっていくが、本来は市の行政の中で教育の一環としてやるべき事業がほとんどだと思うので、市の予算の中でされなければならない。市の行政でやっていただきたい。
金子課長	それにつきましては、今後の文化振興の進め方になってくると思う。それは大きい議題なので、その際にまた皆さんから御議論いただきたい。
石井委員	初めて文化振興基金というものがあり、当初の使用目的があって、今は基金を基にいろんな事業が行われているということを知った。 その中で、学校の立場で一番利用できないかと思うのは、わくわく文化未来塾で学校に出前に来てもらえないかと思う。学校に来ているようなことを教えていただけたら面白いと思う。 例えば、学校にはクラブ活動の時間があるが、教員がお茶を教えられるかというとなかなか難しい。お茶の先生に来ていただき、指導していただきたい。生け花とか踊りとか、そういうことができれば学校は面白くなると思う。
丸山会長	文化団体協会で小学校に出前講座を行っている。例えば俳句作家連盟が一番多く17回も各小学校に行っている。陶芸も1回行っている。出前講座はいつでもお受けする。
金子課長	文化団体協会の出前講座をはじめ、学校へのPR方法を考える必要がある。
丸山会長	わくわく文化未来塾はチラシを配布しているが、出前講座についても周知した方がよい。
花柳委員	文化庁も和事に力を入れている。
金子課長	県や国からそのような文化事業について、手を挙げる学校はあるか照会が来ているが、大きい事業なので学校も計画を作って取り入れるところまでいっていない。身近なところでできればと思う。
丸山会長	市役所には、出張トークのメニューというものがたくさんある。出前講座もそういうメニューを作って学校に周知すればいいと思う。
櫻井委員	あるところは、「街の先生」を登録している。三条市も文化が発展しているので、身近な「先生」を学校に紹介できる形にするのではないか。学校も子どもの生涯学習的な事についての視野が広がると思う。
丸山会長	ほかに御質問、御意見が無ければ、本日用意した議題はすべて終了とする。